

令和5年8月11日「全国スポーツ流鏝馬第8回八戸大会」実施報告書

全国スポーツ流鏝馬八戸大会実行委員会

写真：八戸高専写真部（公式ボランティアカメラマン）

1. 趣旨

南部藩の歴史を語る上で馬、そして八戸という土地は欠かせない存在となっています。岩手北部から青森南部にかけて、平泉の藤原氏が「糠部の駿馬」を貴重な財源としていたと言われており、全国の様々な戦いで南部産の馬が活躍し、重宝されていました。

現在も八戸には奉納行事としての流鏝馬や騎馬打毬だけでなく、八幡馬やえんぶり、八戸三社大祭など馬に関わる文化や行事が数多く残っています。これらがすべて南部藩に由来するものであり、また会場となる櫛引八幡宮と南部藩との深いつながりがあることから、スポーツ流鏝馬という今大会を通じて800年に及ぶ南部藩の歴史への興味喚起、さらには地元愛の育成と乗馬人口拡大を目指すものとします。

2. 実施内容

| 時間 | 流鏝馬競技 | 併催行事 | 各種出店 |
|-------------|-------------------|--------------------------------|------------------------|
| 8:30~ | 試走開始 | | |
| 9:30~ | 開会式（安全祈願） | | |
| 10:00~12:00 | 本競技（一般の部、勝抜戦） | 10:00~12:00 弓体験・レザー クラフト | 各種出店 ・飲食店 ・学生ブース |
| 12:00~13:20 | 昼休憩 | | |
| 13:20~14:20 | 本競技（上級の部、団体戦） | 13:30~14:30 | |
| 14:20~14:40 | チャレンジマッチ（U-18流鏝馬） | 乗馬体験 | |
| 15:00 | 表彰式 | 終了 | 終了 |

○ 流鏝馬競技

― 出場選手34名（男性10名・女性24名）

- ・上級の部（乗馬インストラクターもしくは各クラブ推薦者）…7名
- ・一般の部（上級の部以外の選手）…23名
- ・チャレンジマッチ…4名
- ・団体戦ダブルス（2人1チーム）…4チーム
- ・勝抜戦…9名

※ 県別：青森県17名、岩手県7名、北海道1名、群馬県1名、東京都2名、神奈川県2名、佐賀県2名、アメリカ2名

※ 年代別：10代11名、20代8名、30代3名、40代2名、50代7名、60代以上3名

【競技ルール】

- 個人戦は3回走ります。団体戦ダブルスは2人（頭）1組で2回走ります。
- 箱的に矢が入れば的中。それ以外の部分が的中をかすっても的中になりません。
- 1走で狙う的は3か所あり、『1の的（10点）』『2の的（20点）』『3の的（10点）』となります。
- 的からの的までの距離は55mあり、タイムは1の的から3の的までの110mで計測します。タイム制限があり、一般の部は15秒、上級の部は12秒、団体戦は17秒を超えるとタイムオーバー・無得点となります。
- 全走の合計点数の多いほうが上位、同点の場合は合計タイムの少ないほうが上位となります。
- 勝抜戦は3的すべて当てた人が勝ち残り、優勝者が決まるまで行います。

■大会結果

【一般の部】

優勝 ネルソン・タナヤ



準優勝 松岡彩



第三位 戸津美香



【上級の部】

優勝 桜庭恵梨



準優勝 澤田洸平



第三位 布施蒼依



【団体ダブルス】

優勝 炎陽（布施・石橋）



【勝抜戦】

優勝 布施蒼依



【チャレンジマッチ】

イベント演出として、本大会の特徴である（学生スタッフ、ボランティアが大半を占める）イベントづくり体制を象徴するように、「U-18流鏑馬大会」をテーマに「未成年の、未成年による未成年のための流鏑馬大会」として、出場選手のみならず的係や司会・集計などを学生が主体となる様子を表現した。

■運営総勢41名（すべて中学・高校・大学生）

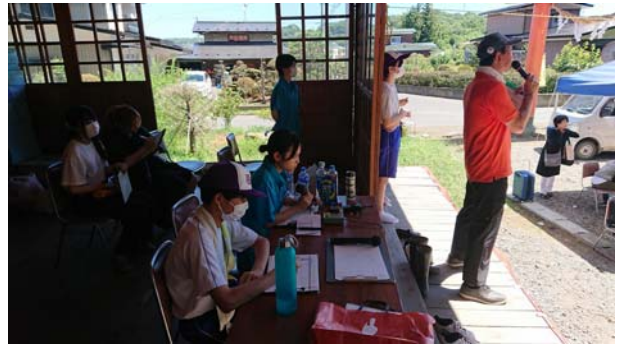
選手…4名（岩手県より3名[10～13才]、佐賀県より1名[13才]）

的係、的改め・・・明治中学校10名（にんじんサークル13名がサポート）

馬溜まり・馬留め・・・にんじんサークル5名

司会、集計・・・明治中学校2名、八戸あおば高等学院2名、Future Generations3名（にんじんサークル3名がサポート）





○ 安全祈願・開会式 (9:30~10:00)

大会の安全を祈願して、実行委員長が代表して玉串奉奠。選手・スタッフ一同が揃い開会式を行うとともに、競技走路のお清めをした。

- ・来賓祝辞：八戸市長 熊谷 雄一 様、 衆議院議員 田名部 匡代 様
- ・ボランティア宣誓：各ボランティア学生団体（6名）が宣誓式を行う

学生団体（八戸市立明治中学校、八戸高専写真部、立命館大学万博学生委員会日本文化班、にんじんサークル、八戸あおば高等学院、Future Generations）



○弓矢体験コーナー（10:00～12:00）

にんじんサークルボランティアによる弓矢体験を弓道場前広場にて実施。普段行う機会のない流鏝馬で用いる弓矢の体験と、小さい子どもでも楽しめるようおもちゃ弓も用意しての無料提供を行った。（利用者50名）



○八戸あおば高等学院ブース（10:00～15:00）

学校活動紹介パネル展示やジュース・お菓子販売を通して、社会で自立して生きる力を培うことの大切さを学ぶ共育（教育）を重視し、本イベント出展を経験の場としても活用。



○次世代リーダー養成プログラム「Future Generations」高校生ブース（10:00～15:00）

学習塾や学校と企業とのタイアップで、ワークショップ、討論会、ボランティア活動などの体験学習を通して、社会で活躍しリードしていく力を備えた人材の育成を目指すプログラム実施の場としてイベント出展。10代の学生での目線で企画された以下のコーナーを来場者に提供した。

・顔出しパネル、スポーツ流鏝馬紹介紙しばい上映、手づくりビーズ、オリジナルパンフレット、缶バッジ等販売



○八戸市立明治中学校ブース（10:00～15:00）

探究学習（地域の歴史）成果をまとめたパネル展示ブース。



○レザークラフト体験コーナー（10:00～13:00）

革に刻印を打ち込んでオリジナルキーホルダーを作る体験コーナー。



○櫛引八幡宮ブース（10:00～15:00）

子ども向けの射的・わなげコーナー縁日屋台



○体験乗馬コーナー（13:30～14:30）

流鏝馬をしていた馬に乗ることができるコーナーを1回500円にて実施（27名利用）。北里大学の乗馬サークルボランティアによる引き馬体験を提供した。



○種差少年自然の家 遊具遊び体験 (10:00~15:00)

竹馬・コマ回し・けん玉などの昔懐かしい遊具遊びに親子連れで楽しんでいた。



○流鏝馬イベントラリー (10:00~15:00)

会場内の各出展を巡ってもらえるようにスタンプラリー企画も実施。プレゼント品も用意し、来場者の滞在時間延長と周遊効果を図った。

配布30枚のうち景品交換15名。



○飲食店出店 (10:00~15:00)

- ・くるみの里
- ・Toshi's DINER
- ・Jack & Betty



【事業規模】

- ・スタッフ・ボランティア99名
(学生85名) 八戸高専写真部3、Future Generations5、にんじんサークル25、明治中学校26、八戸あおば高等学院24、立命館大学2
(成人14名) 乗馬クラブスタッフ、乗馬クラブボランティアなど
- ・選手34名
- ・使用馬15頭 (和種、和種系)
- ・来場者 1,500名

3. 事業の効果

①視覚的にも体感的にも、市民に馬と触れ合う機会・馬文化を知る機会を提供することができた。

- ・ 体験乗馬コーナー（有料）利用者数27名
- ・ (7/19実施) 明治中学校体験&ボランティア勉強会参加者75名



②コロナ前と同様程度の来場を迎えることができ、イベントの賑わいを取り戻すことができた。

【来場者推移】

- 第1回（平成28年）400人
- 第2回（平成29年）750人
- 第3回（平成30年）2,000人
- 第4回（令和元年）2,000人
- 第5回（令和2年）534人（※コロナ禍）
- 第6回（令和3年）184人（※コロナ禍）雨天
- 第7回（令和4年）504人（※コロナ禍）雨天
- 第8回（令和5年）1,500人



③馬文化及びイベントの情報発信につながった。

- ・ 新聞：8/12 デーリー東北、東奥日報、読売新聞
- ・ チラシ（4000枚）、ポスター（200枚）配布
- ・ 8/8東北ニュービジネス競技会あおもり支部講演会（60名参加）
- ・ 7/24デーリー東北新聞社訪問



④地域内にある団体や個人の活用ができた。特に学生団体との持続的なイベント運営体制が確立できていると考える。

・スタッフ・ボランティア99名

(学生85名) 八戸高専写真部3、Future Generations5、にんじんサークル25、明治中学校26、八戸あおば高等学院24、立命館大学2

(成人14名) 乗馬クラブスタッフ、乗馬クラブボランティアなど

※明治中学校「馬の歴史と地域の文化を学ぶ会」の実施

日時：7月10日（月）13：00～15：00 場所：楡引八幡宮

内容：2年生による事前準備ボランティア活動（会場の走路整備（草とり）と的板づくり）を実施。また、イベント当日には探究学習（地域の歴史）成果をまとめたパネル展示ブースを実施した。



日時：7月19日（水）13：30～15：30 場所：明治中グラウンド・体育館

内容：全校生徒75名を対象に、学習体験会を開催。本会により地域の歴史や馬とのつながりを知り、そのうち3年生が当日のイベントスタッフとして参加した。

①楡引八幡宮・遠野郷八幡宮講師による、馬の歴史と地域の文化学習

②乗馬体験等を通じた馬の取り扱い実習



※次世代リーダー養成プログラム「Future Generations」企画の実施

以下の活動を経て、本大会にてブース出展を行った。

①事前ワークショップによる出展企画立案と準備

②流鏝馬について学ぶ学習体験会実施（7/23）

次世代リーダー養成プログラム「Future Generations」とは…

グローバル化・多様化が進む現代社会において、子どもたちは「学力・知識」だけでなく、異なる価値観や文化的背景を持つ人々と相互に理解し合いながら、様々な物事に取り組み問題を解決していく「実践力」を身に付けることが求められています。次世代リーダー育成プログラム「Future Generations」は、塾内にとどまらず、地域社会を学びの場として様々な人と関わりながら、ワークショップ、討論会、ボランティア活動などの体験学習を通して、社会で活躍しリードしていく力を備えた人材の育成を目指すプログラムです。

「Future Generations」活動紹介ページ <http://towada-joba.com/fg/>



※八戸あおば高等学院「八戸弓馬会あおば道場」の開設

2023年4月10日、かつて馬産地でもあった八戸の地で、千年の歴史を誇るわが国固有の騎射流鏑馬の伝統文化と知識を学び「スポーツ流鏑馬」に親しみながら、その技術とスポーツ精神を習得することで継承し普及と発展に努めることを目的に、国内の高校では授業として初めてとなる「スポーツ流鏑馬コース」を新設し、定期的実施している。



※八戸高専写真部による「公式イベントカメラマン」

周辺地域学校との連携強化のため、イベント公式写真撮影記録を写真部に依頼、当日は3名の学生カメラマンによる記録を行った。撮影写真は、本報告書などの他、ホームページ等でのイベント報告ならびに次年度ポスター等の広報物に使用される。

⑤総じて地域の活性化に貢献した。

- ・ 賞品の地元産品活用
- ・ スタッフ昼食および外注業者に地元企業活用
- ・ 7/24～8/7に、八戸ショッピングセンターラピアにて流鏝馬写真展示を実施



■協賛

統計分析研究所 株式会社アイスタット、株式会社吉田産業、八戸あおば高等学院、タイシの豆腐BAR、Future Generations、古川千恵子、遠野郷八幡宮 こども流鏝馬実行委員会、Hippo griff、馬場典子、有料老人ホーム ポラリス、清水福治、松田一

■後援

八戸市、八戸市教育委員会、一般財団法人VISITはちのへ、デーリー東北新聞社、東奥日報社、東奥日報文化財団